

すべてのがん検診で全国平均を上回る受診率になりました！ ～令和7年国民生活基礎調査の結果について～

このたび厚生労働省から公表された令和7年国民生活基礎調査の結果、本市のがん検診受診率が、胃・肺・大腸・子宮頸・乳の全ての検診種別において、前回調査（令和4年）及び全国平均の双方を上回りました。

本市のがん検診受診率について

- 前回調査からの伸びは、**本市が平均+4.8ポイントと全国の+2.8ポイントを上回りました。**
- 特に、前回調査から**胃がんは+5.0ポイント、子宮頸がんは+7.3ポイントと大幅に上昇**しました。
- 本市の胃がん検診では、令和6年度に**自己負担額を引下げ（3,140円→2,500円）**
子宮頸がん検診では、令和7年1月から**HPV検査単独法を導入**

（単位：%）

	横浜市		全国	
	令和4年調査	令和7年調査	令和4年調査	令和7年調査
胃がん	50.2	+5.0p 55.2	48.4	+2.8p 51.2
肺がん	49.2	+3.6p 52.8	49.7	+2.7p 52.4
大腸がん	48.6	+3.5p 52.1	45.9	+2.6p 48.5
子宮頸がん	43.6	+7.3p 50.9	43.6	+2.5p 46.1
乳がん	50.5	+4.6p 55.1	47.4	+3.6p 51.0
横浜市 平均 プラス4.8 ポイント			全国比 平均 プラス2.8 ポイント	

（参考）国民生活基礎調査によるがん検診受診率について

【概要】

厚生労働省が、実施する基幹統計調査として毎年行われ、3年ごとに大規模調査を実施しています。がん検診の受診状況は、この大規模調査で把握されます。

【調査対象】

全国で無作為抽出した約30万世帯（約65万4千人）。そのうち、がん検診については、40歳から69歳（子宮頸がんは20歳から69歳）を集計対象としています。

【受診率の算出】

検診の種類（自治体検診、職場での健診、人間ドックなど）を問わず、調査対象者の自己申告に基づく受診の有無を集計し、算出しています。

お問合せ先

がん・疾病対策課 担当課長 長澤 Tel 045-671-4845



GREEN x EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

